



2010年[平成22年] 3/26 (金曜日)

ダイジェスト版

大量保有報告書から

JPMorganがngiを新規取得

表は2月24日から3月24日の間に提出された大量保有報告書で持ち分変動が明らかになった主な新興銘柄一覧だ。

前回集計(1月27日から2月23日)に続き報告件数が少なく、明確な傾向を読み取ることはできなかったが、コソコソと買い増している投資家の存在が確認された。

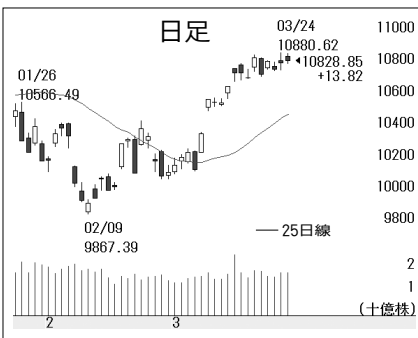
例えば、あすかアセットマネジメント。同社は食材・食料品の商取引サイトを運営するインフォマート(2492・東)を市場でコソコソと取得、5%超に保有比率を高めた。あすかアセットマネジメントによる新規買い付け報告は、2007年12月の旭ダイヤモンド工業(6140)以来、2年3カ月ぶり。

株価は17%上昇しており、「買い本尊」が明らかになった形。ファイデリティ投信は表の通り、利食い、処分売り優勢。07年11月に新規買い付けを明らかにし、08年9月には13%超に保有比率を高めたデジタルガレージ(4819・JQ)を利食い(もしくは処分売り)に動いた。3月は新興銘柄に限らず処分報告が多く、25日受付分までの市場通算の報告件数37件中、買付報告は

DATA BOX (25日)

東証概況

25日の東京株式市場は日経平均が続伸で始まるも、その後は方向感に欠ける展開。工作機械株ではファンックや牧野フライスが大きく買われツガミは急騰、それぞれ高値を奪回した。大阪チタニウム、東邦チタニウムのチタン株も高い。炭素繊維株の側面から、東レと帝人も商いを集めた。メガバンク株は小じっかり。一方、ソースネクストは利益確定売りに急落。旭硝子や日電硝のガラス株は一服。コロナイド、吉野家HDは下げ止まらず。(U)



TOPIX 952.13 ▲0.16
日経平均 10,828.85 ▲13.82

出来高 19億259万株
(24日、18億9,348万株)

売買代金 1兆3,183億円

時価総額 318兆7,410億円

値上がり643銘柄 値下がり896銘柄

変わらず140銘柄

騰落レシオ 124.00% ▼10.06

日経平均サイコロ (7勝5敗)

●●○○○●○○●○○○

新高値56銘柄 新安値5銘柄

(以上東証1部、大引けベース)

JASDAQ平均 1260.20 ▼7.44

円相場(14時) 91.98-91.99

高値91.77 安値92.25

外資系証券の注文 (寄り前、市場推計)

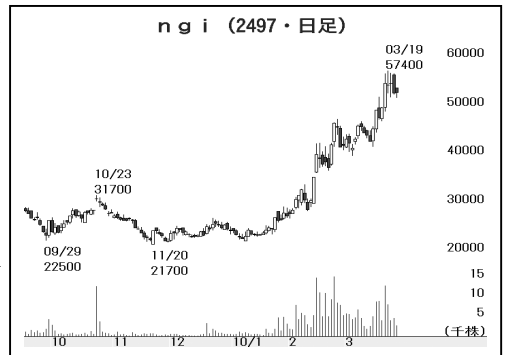
売り 1440万株

買い 2090万株

差し引き △650万株

NYダウ工業株30種 (24日) 10836.15 ▼52.68

NASDAQ指数 2398.76 ▼16.48



動力機器・溶接機大手の12件となっている。また、ファイデリティは比率は10%を超えてきた。(表と詳細は本紙参照)

ダイヘン(6622)のほか、昨年9月に新規取得を報告した戸田工業(4100)、昨年10月に新規取得を明らかにした東電化学工業(4047)などは買い増しスタンスを堅持し、関電工の直近保有



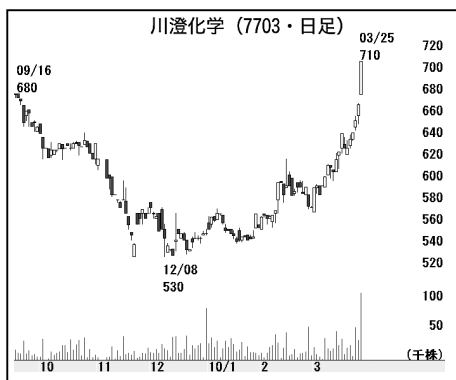
岡三オンライン証券

OKASAN ONLINE SECURITIES

川澄化学 2年ぶり高値

米国の医療保険改革法の成立を受けて、株式市場でも医療機器関連株への関心が高まっている。25日は3月に入ってから急こう配の上昇相場を演じていた川澄化学(7703)も(ニューズリリースなどの)発表はしてない(川澄化学広報担当)とい、やはり米医療保険改革の側面から人気が拍車がかかった感も否めない。しかし、その注目の材料に

米医療保険改革で浮上



03・2部)が大幅高となり、昨年9月に付けた高値(690円)を一気に更新してきた。約2年ぶりとなる700円も付けたが、「特に何も(ニューズリリースなどの)発表はしてない(川澄化学広報担当)とい、やはり米医療保険改革の側面から人気が拍車がかかった感も否めない。しかし、その注目の材料に

日本通信 ストック高

社は今3月期業績は好調。第3・四半期(09年4-12月、3Q)決算発表と同時に、通期の経常利益予想を増額(22億円↓26億円)したが、それでもなお進ちょく率は3Q時点で88%に達しているため、再増額期待も底流しているようだ。

日本通信(9424・HC)がストップ高。思惑含みに底離れの構えを強めてきた。一部報道で「総務省が4月から『SIMロック』解除の検討を開始」と伝えられたことが、再評価のきっかけとなった。携帯電話機の固体識別を司る「SIMカード」

は、日本では、通信会社をまたいだ、乗り換えができないように、ロック

クがかかっている。そして、これが通信事業社間、また端末メーカー間の正常な競争を妨げていると指摘されてきた。諸外国にならって、今後、これが日本でも解除されることになれば、国内の移動体通信市場は、まさに戦国時代を迎えることになる。NTTドコモやソフトバンクなどにとつては、値下げなどの競争激化を誘発する可能性ありそうだ。

一方、日本通信はこれに先立ち、17日大引け後に「SIMロック解除の製品『boomobile SIM』を発売する」と発表しており、これが目先の関心を誘っているようだ。

「boomobile SIM」は、NTTドコモの通話回線に対応したSIMカードで、携帯端末に挿入することで、一定期間(1カ月、6カ月、1年と期間ごとに料金が異なる)のデータ通信が使い放題となる製品。時代の流れにマッチしたサービス体系をスタートさせたことが、思惑材料となっている。

東エレデバ 上値視界広がる

増額の次はインテルと提携

東京エレクトロニクス(2760・2部)が昨年来高値(12万9900円)を軽快に更新。一気に上値視界が広がってきた。

販売で提携すると報じられたことをきっかけに、買い人気が殺到。東エデバは家電・自動車メーカー向けに強い販路を有すること、同分野の販売を強化したいインテルと思惑が一致したようだ。

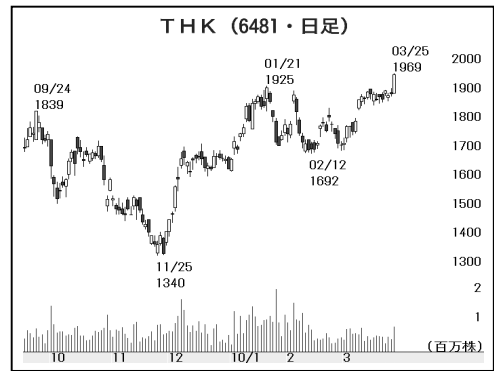
そうでなくとも、東エデバは23日に今3月期業績予想の上方修正を発表済みで、投資家の買い意欲が増す方向にある。半導体商品の回復を受け、売上高は820億円から850億円、経常利益は14億円から20億

5000万円に引き上げられ、経常利益は減益予想が一転、増益に転じる。足元の業績急回復に加えて、世界最大手の半導体メーカーとの提携が追撃材料になった格好だ。

なお、インテルとの提携についてはバイテック(9957・2部)やイノテック(9880・2部)も販売代理店契約を結びと伝えられており、それぞれ一時大幅高に買

25日は後場一段高で、その引け味の良さを市場の関心を集めた。中国や台湾の工作機械向け、また半導体製造装置や液晶パネル製造機器メーカーなどの需要回復で、月次ベースの受注は急速に改善、足元の状況から、市場内では、会社側の今3月期業績見通しが大幅に上方修正されるとの観測が強まってきている。

産業用ロボット関連株は、ファナック(6954)が大きく上値を伸ばすなど、こころ気化しており、市場に資金流入の連想も膨らんできたようだ。



好業績のロボット関連株

今日の勝負株

THK (6481)

シークス(7613)

LED関連の好業績銘柄

DATA BOX (25日15時)

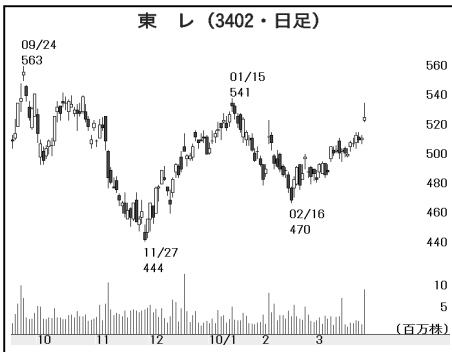
新興概況 サイバーエージ、エイチアイ、バリューコマース、メディネット、ウィンインター、ワイズマン、銚子丸、サマンサタバサ、竹内製作所、京写などが連日の高値。寿スピリッツ、原田工業、ムトー精工、タカセ、平賀など再び高値。アクロディアとウェルネットは昨年1月、エスティックは昨年6月、麻生フォームは昨年8月、プロトコーポは昨年10月、中野冷機とプラネックスは昨年11月の高値をそれぞれ上抜いた。インフォテリア、リアルコムが再動意しストップ高。手掛かり浮上の日本通信もストップ高。(Q)

JASDAQ平均サイコロ
(11勝1敗)
○○○○○○○○○○○○●

J-Stock Index	1140.98	▲4.44
JQ-Index	53.58	▲0.10
出来高(万株)	3930	(1710)
売買代金(百万円)	24717	(28659)
時価総額(億円)	92923	(92766)
マザーズ指数	445.28	▼6.64
ヘラクレス指数	622.80	▼6.01

※カッコ内は前日の確報値

東レ 戻りに弾み



また、航空機の機体や部品に多用されていることと知られる。ここ数年、期待されては先送りされてきた、米ボーイングの新型旅客機「B787」の量産化にやっとメドがついたことか

人気材料株の復活なるかに注目したい。東レ(3402)が商いを集めて一段高。右肩下がりのトレンド打破へ、1月高値に突っかける場面も見られた。25日付一部報道で、「炭素繊維の出荷価格を4月分

炭素繊維値上げを好感

ら10~15%値上げする方針を決定」と報じられたことから、収益拡大を期待した買いが流入した。軽くて強い特徴を持つ炭素繊維は、ゴルフシャフトや釣竿などスポーツ・レジャー関連用品から自動車などに広く普及、

任天堂 主役の存在感発揮 4万5000円目標の声も



任天堂(7974)が後場一段高となる強い値動きで4日続伸。全市場で売買代金トップと主役の存在感を発揮した。

つて、高い技術力を持ちながら採算性に苦しんできた東レの同分野に明るい兆しが見え始めた。(詳細は本紙参照)

23日発表した3D(3次元)映像の携帯型ゲーム機「ニンテンドー3DS」発売に続いて、評価上乘せ材料を提供したの

膠着? 強調?

日経平均「2つの記録」

日経平均の最近の値動きについて、「膠着(こうちやく)」と「強さ」を示す2つの記録が一部で注目を集めている。「膠着」の方は、日足の、いわゆる「鯨幕」。前日比プラスとマイナスが交互に続くパターンで、15日から24日まで「7日連続」となった。これは、過去最高を記録した昨年8、9月の「14日連続」以来の記録。少し前に話題を呼んだ、日中値幅100円未満の連続記録(3月8-16日の「7日連続」)などと同様、相場の様子見ムードを示すものと

いえよう。その一方で、週間ベースで見ると、全く様相が異なってくる。週末値ベースで、前週末までの日経平均は「6週連続高」を記録中。現在は、非常に微妙な位置取りにあるが、週末26日(権利付き最終日でもある)の終値が「1万824円72銭」を上回れば、7週連続に記録を伸ばすことになる。週間ベースでの連続高記録。過去をさかのぼっても、意外と少ない。2005年以降の5年間強の間で、「7週以上

の連続高は、3回あるだけだ。(ほかに、6週連続が2回、5週連続が6回)。過去3回のパターンを見ると、まず①2005年の8、9月に「8週連続高」を記録。これはちょうど、小泉政権下の郵政解散の時からスタートしており、連続記録が途絶えた後も、一段高に買い進まれたのは周知の通り。次いで②08年3-5月に「7週連続高」を記録。この時は、ベア・スターズショックによる大底からのスタート。連続記録途絶後も、6月の高値形成まで上昇相場が続いた。そして、直近には、③昨年11月-今年1月の「7週連続高」がある。

(詳細は本紙参照)

2005年以降の週間連続記録

連続開始週	連続最終週	
【2005年】		
5月23日	6月27日	6週連続
8月8日	9月26日	8週連続
10月24日	11月28日	6週連続
【2006年】		
3月6日	4月3日	5週連続
9月25日	10月23日	5週連続
11月27日	12月25日	5週連続
【2007年】		
9月10日	10月9日	5週連続
【2008年】		
3月17日	4月28日	7週連続
【2009年】		
3月9日	4月6日	5週連続
7月13日	8月10日	5週連続
11月30日	翌年1月12日	7週連続
【2010年】		
2月8日	3月15日	6週連続(継続中)

(日付は週の最初の営業日を記載)

為替市場

ドル円、底入れ期待は時期尚早

米長期金利上昇に、むしろ米国のリスク

外国為替市場では、24日のロンドン市場に入るとドルが全面高。円売り、欧州通貨売りの動きが強まった。フィッチがポルトガルの格付けをA Aマイナスに引き下げたとの報道が伝わるとユーロドルの下落が加速、1.34ドル割れ。ポンドドルや豪ドルなどそのほかのストレートドルでもドル買いが優勢でドル円は91円台を回復。ニューヨーク市場に入るとドル買い、円売りの動きがさらに加速。米2月耐久財受注は除く輸送機器が予想より強い、米2月新築住宅販売は予想よりも悪い内容と指標はマチマチだが、指標とは関係なくドル高が進行。米医療制度改革法案成立による財政赤字拡大懸念や5年債入札の低調な結果で米国債利回りが上昇すると、円売りの動きが再度加速し、92円を超えて

一時92円42銭まで上伸。またユーロドルは1.33ドルに接近。しかし、25日の東京市場のドル円は92円台を割り込んで91円75銭近辺まで下落した。日本の輸出企業のドル売りが上値を抑えた格好だ。

24日のニューヨーク市場では、ドル円が92円台半ば近くまで上伸、ドル強気派は、チャート上、100日移動平均線を上回ったことに注目してい

る。しかし、週足の一目均衡表では、遅行線が転換線や基準線を上抜かない限り、なお下落トレンドが継続しているとの見方もあって、チャート上ではまだ判断がつかない。

一方、ファンダメンタルズ重視派は、ドル円の下落は終わっていないとの見方が多い。リスク回避の要因が事欠かないからだ。ドル円の強気派は、米金利先高期待を材料

にしている。24日のニューヨーク市場でドルが上ブレたのは、米債券相場が急落、2年国債利回りが1.08%、10年国債利回りが3.85%に急上昇したことが大きな要因となった。

しかし、米国の過去のパターンから見ると、景気底入れ後の初期の金利上昇は、株安を通じ、むしろドル安に動いている。ドル高に作用するのは本格的な金融引き締めに入ってからだ。24日の債券急落は、米景気動向が左右したのではなく、国債入札の不調が主因。過去最高規模の国債定例入札への不安が響いている。米国では、長期金利が上昇を続けると株式相場が打撃を受けてきた。米金利高は必ずしもドル高要因にはなっていないことを念頭に置きたい。



投資信託 全カテゴリー総合ランキング

全カテゴリー総合		値上がり率ベスト20 (24日)			
順位	ファンド名	運用会社	基準価額 (円)	前日比 (円)	上昇率 (%)
1	京都・滋賀インデックスファンド	野村	9579	284	3.06
2	円建て分配金確保型ファンド 0808	シュローダー	5602	154	2.83
3	三菱UFJ NASDAQオープン Bコー	三菱UFJ	3905	88	2.31
4	三菱UFJ NASDAQオープン Aコー	三菱UFJ	3688	79	2.19
5	資源ファンド (株式と通貨) ブラジルリアル	日興	10386	215	2.11
6	ダイワ・ブラジル株式オープン -リオの風	大和	9938	201	2.06
7	資源株F通貨選択<ブラジルリアル>毎月	日興	9827	195	2.02
8	DWS 通貨選択型エマソブ レアル	ドイツ	10261	186	1.85
9	ダイワ・ブラジル株式ファンド	大和	8558	155	1.84
10	NEXTFUNDSブラジル株式指数・ボバ	野村	32911	591	1.83
11	ブラジル株式オープン	大和	19492	348	1.82
12	ブラジル・インフラ関連株ファンド	大和	10106	174	1.75
13	ダイワ・ラテンアメリカ株式ファンド	大和	9071	155	1.74
14	JPMロシア・東欧株ファンド	JPMorgan	10636	177	1.69
15	野村ブラジル・インフラ関連株投信	野村	10864	174	1.63
16	ブラックロック・ワールド資源株ファンド	B R J	5939	95	1.63
17	ブラックロック・ラテンアメリカ株式ファン	B R J	9237	146	1.61
18	野村世界業種別投資シリーズ (世界半導体株	野村	11278	177	1.59
19	AAMブラジル株式ファンド	アパディーン	7686	119	1.57
20	野村グローバル半導体株0905	野村	12599	194	1.56

全カテゴリー総合		値下がり率ワースト20 (24日)			
順位	ファンド名	運用会社	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率 (%)
1	野村金先物投信 (豪ドルコース) 年2回決算	野村	11751	▼364	▼3.00
2	野村金先物投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	野村	11526	▼357	▼3.00
3	金先物投信 ランドコース 年2回	野村	11859	▼332	▼2.72
4	金先物投信 ランドコース 毎月	野村	11330	▼315	▼2.71
5	野村金先物投信 (ブラジルリアルコース) 年	野村	11337	▼264	▼2.28
6	野村金先物投信 (ブラジルリアルコース) 毎	野村	11076	▼256	▼2.26
7	グローバル資源株ファンド	みずほ	6645	▼141	▼2.08
8	野村原油先物投信 (豪ドルコース) 年2回決算	野村	10391	▼180	▼1.70
9	SMBCPBセレクションロングショート欧	FAMJ	9432	▼154	▼1.61
10	グローバル・アンブレラ UBS フード	UBS	6720	▼105	▼1.54
11	ダイワBRICsリターンズ・ファンド	大和	14461	▼224	▼1.53
12	原油先物投信 ランドコース 年2回	野村	10354	▼157	▼1.49
13	上海株式指数・上証50連動型上場投資信託	野村	28378	▼409	▼1.42
14	原油先物投信 ランドコース 毎月	野村	10895	▼154	▼1.39
15	ベトナムファンド2006-11	三井住友	8098	▼112	▼1.36
16	野村原油先物投信 (豪ドルコース) 毎月分配	野村	10921	▼151	▼1.36
17	Wベア・香港株オープン	新光	5887	▼78	▼1.31
18	住信 エマージング株式オープン	住信AM	7609	▼100	▼1.30
19	SMBCファンドラップ・コモディティ	大和住銀	5919	▼75	▼1.25
20	コモディティ・セレクション (食糧)	岡三	5356	▼64	▼1.18

※比較基準日が分配日 (決算日) のファンドは対象から除外。

JASDAQ

東京1部 25日

上昇率上位銘柄

銘柄	上昇率	株 価
①(7633) NESTAGE	100.0	2
②(6819) オメガHD	40.0	7
③(6347) ブラコー	31.8	29
④(3846) エイチアイ	26.4	191500
⑤(7748) ホロン	22.4	27340
⑥(2759) S B R	20.8	2325
⑦(4356) 応用技術	18.9	27950
⑧(2721) ジェイホーム	18.9	31500
⑨(3390) USシステムズ	16.1	7230
⑩(6638) Mimaki	15.1	70800

下落率上位銘柄

銘柄	下落率	株 価
①(6659) メディアGL	10.3	49500
②(3798) ウルシステムズ	10.0	48400
③(3241) ウィル	9.1	40000
④(4288) アズジェント	8.9	72000
⑤(3239) 総和地所	8.5	279
⑥(2427) アウトソング	8.5	33500
⑦(3085) ALサービス	7.6	145000
⑧(2167) ウェブマネー	7.3	175200
⑨(3381) ビズネット	6.8	82
⑩(7877) 永大化工	6.7	97

出来高上位銘柄

銘柄	出来高	株 価
①(6819) オメガHD	15655	7
②(6347) ブラコー	3258	29
③(8836) R I S E	1753	4
④(7638) シーマ	1559	20
⑤(7633) NESTAGE	1385	2
⑥(3587) I Bダイワ	1233	4
⑦(2706) プロコラー	1128	25
⑧(9822) クロニカル	1025	3
⑨(7571) ヤマノHD	1018	30
⑩(6837) 京 写	521	272

売買代金上位銘柄

銘柄	売買代金	株 価
①(4755) 楽 天	4087	67500
②(3858) ユビキタス	3852	275000
③(4817) J C O M	2562	107000
④(4348) インフォコム	2272	113000
⑤(3846) エイチアイ	1301	191500
⑥(2428) ウェルネット	884	103500
⑦(4819) Dガレージ	832	204300
⑧(4239) ボラテクノ	604	151000
⑨(8410) セブン銀行	420	187900
⑩(2167) ウェブマネー	259	175200

株価上昇率15銘柄

銘柄(コード)	上昇率	株 価
①バンチャリック(9609)	54.5	17
②佐島電機(7420)	13.8	586
③ツガミ(6101)	12.5	574
④J U K I(6440)	12.2	166
⑤ラサ工(4022)	9.6	103
⑥サクラダ(5917)	8.0	27
⑦河合薬(7952)	7.7	225
⑧C F S(8229)	7.0	567
⑨岩崎通(6704)	6.8	78
⑩ガリバー(7599)	6.8	3610
⑪ナカヨ通(6715)	6.5	196
⑫兼松日産農(7961)	6.4	133
⑬栗本鉄(5602)	6.2	172
⑭片倉(3001)	6.2	880
⑮黒崎播磨(5352)	6.0	353

株価下落率15銘柄

銘柄(コード)	下落率	株 価
①シルバー(6453)	16.7	5
②ソースネクスト(4344)	9.8	36550
③旭テック(5606)	7.8	47
④日ピス(6461)	4.7	101
⑤電産トソー(7728)	4.7	1321
⑥フィデアHD(8713)	4.6	165
⑦鹿 島(1812)	4.6	209
⑧LINK&M(2170)	4.2	40150
⑨ティアック(6803)	4.2	46
⑩ダイダン(1980)	4.1	464
⑪D I(4310)	4.1	63000
⑫アルゴグラフ(7595)	4.0	1091
⑬郵船航空(9370)	4.0	1308
⑭ランド(8918)	3.8	25
⑮東 亜 建(1885)	3.8	102

マザース

上昇率上位銘柄

銘柄	上昇率	株 価
①(4744) メ ッ ツ	21.1	2875
②(3853) インフォテリ	20.9	86800
③(3856) リアルコム	19.2	93000
④(7829) サマンサJP	18.9	62800
⑤(3736) コネクト	17.2	10210
⑥(6161) エスティック	14.2	108500
⑦(4747) e まち	13.0	321500
⑧(2370) MDNT	12.4	24000
⑨(6264) マルマエ	11.1	81100
⑩(3237) イントランス	10.5	8400

下落率上位銘柄

銘柄	下落率	株 価
①(3753) フライト	9.2	69100
②(3751) 日本アG	8.3	9550
③(6786) リアル	8.3	53200
④(2459) アウン	7.8	42300
⑤(2464) B B T	7.7	48000
⑥(3812) ゲームオン	7.6	83200
⑦(3825) REMIX	7.5	35150
⑧(6656) INSPEC	7.4	32300
⑨(3810) サイバーS	7.1	40800
⑩(2351) A S J	6.8	48000

出来高上位銘柄

銘柄	出来高	株 価
①(2160) G N I	529	25
②(3632) グリー	229	5740
③(4749) ADVAX	212	13
④(9204) スカイマーク	167	366
⑤(6672) レイテックス	130	43
⑥(6253) F O I	93	741
⑦(6255) エヌビシー	59	2274
⑧(2196) エスクリ	41	650
⑨(4751) サイバー	40	178700
⑩(8925) アルデ	40	343

売買代金上位銘柄

銘柄	売買代金	株 価
①(4751) サイバー	7344	178700
②(4813) ACCESS	2027	135100
③(2121) ミクシィ	1997	611000
④(3632) グリー	1329	5740
⑤(2491) Vコマース	664	33350
⑥(3853) インフォテリ	591	86800
⑦(3823) アクロデア	527	129000
⑧(7717) V テク	470	495000
⑨(2370) MDNT	444	24000
⑩(2193) C O O K	306	7660

出来高上位15銘柄

銘柄(コード)	出来高	株 価
①みずほ(8411)	154949	194
②三菱UFJ(8306)	48212	471
③東 芝(6502)	47086	475
④クラリオン(6796)	46245	207
⑤井筒屋(8260)	41781	56
⑥J U K I(6440)	34525	166
⑦N E C(6701)	32046	270
⑧A N A(9202)	27858	262
⑨三 菱 重(7011)	24680	380
⑩日 立(6501)	24459	323
⑪大 林 組(1802)	23437	396
⑫ツガミ(6101)	23252	574
⑬バンチャリック(9609)	22526	17
⑭いすゞ(7202)	21046	250
⑮旭テック(5606)	20245	47

売買代金上位15銘柄

銘柄(コード)	売買代金	株 価
①トヨタ(7203)	40821	3705
②ソニー(6758)	31682	3470
③みずほ(8411)	29866	194
④三井住友(8316)	24838	2952
⑤三菱UFJ(8306)	22780	471
⑥東 芝(6502)	22469	475
⑦キャノン(7751)	21638	4185
⑧ホンダ(7267)	20540	3275
⑨ファナック(6954)	18711	9750
⑩武 田(4502)	15109	4245
⑪日産自(7201)	15087	768
⑫ソフトバンク(9984)	13273	2158
⑬三 菱 商(8058)	12929	2345
⑭ツガミ(6101)	12865	574
⑮信越化(4063)	12566	5320

東 京 2 部

上昇率上位銘柄

銘柄	上昇率	株 価
①(5964) 洋 刃 物	27.3	126
②(1844) 大盛工	16.7	14
③(4635) 東インキ	10.0	198
④(9539) 葉ガス	8.9	415
⑤(2760) 東エレバ	8.7	136900
⑥(6143) ソディック	8.3	313
⑦(6144) 西部電機	8.0	324
⑧(5104) 日東化工	7.6	85
⑨(5276) 石川島建	7.4	87
⑩(7703) 川澄化学	7.3	719

下落率上位銘柄

銘柄	下落率	株 価
①(5856) 東理HD	14.0	37
②(3750) セブンス	10.0	36
③(3838) A Q I	8.5	119000
④(2410) キャリアDC	7.0	7860
⑤(6343) フリーアック	5.6	17
⑥(9318) J・ブリッジ	5.6	17
⑦(1491) 中外鉄	5.4	35
⑧(5641) T D F	5.2	128
⑨(7247) ミクニ	5.0	132
⑩(3528) グローバルス	4.8	20

出来高上位銘柄

銘柄	出来高	株 価
①(3011) パナース	11891	16
②(8202) ラオックス	8687	101
③(3113) O a k	4284	20
④(5856) 東理HD	2160	37
⑤(3528) グローバルス	1450	20
⑥(9318) J・ブリッジ	949	17
⑦(5104) 日東化工	823	85
⑧(1701) 昭興KDE	806	129
⑨(6835) アライドHD	768	87
⑩(6143) ソディック	744	313

ヘラクレス

上昇率上位銘柄

銘柄	上昇率	株 価
①(3043) モジュレ	16.1	10790
②(9424) 日本通信	16.0	10900
③(4772) Dアドベ	12.7	62
④(7834) マルマン	10.5	200
⑤(3804) システム	6.6	178
⑥(8769) A R M	6.3	6800
⑦(3089) テクノアルファ	5.4	173900
⑧(4570) 免疫生物研	5.1	1230
⑨(4833) は ど	4.9	18880
⑩(1400) ルーデン	4.7	6180

下落率上位銘柄

銘柄	下落率	株 価
①(2388) ウェッジHD	10.9	26030
②(4764) Dデザイン	10.0	23400
③(2138) クルーズ	8.5	150000
④(2180) サニーサイド	7.9	870
⑤(4357) ラ・パルレ	7.1	6890
⑥(3625) テックファーム	7.1	47000
⑦(8462) F V C	6.8	10720
⑧(3839) O D K	6.7	29290
⑨(3777) T L H	6.0	5520
⑩(4784) GMO-AP	5.9	37650

出来高上位銘柄

銘柄	出来高	株 価
①(4842) U S E N	1353	54
②(4772) Dアドベ	1073	62
③(4822) ハドソン	353	389
④(7593) V T ホ	162	160
⑤(7834) マルマン	144	200
⑥(4875) メディンバ	132	703
⑦(2362) 夢真HD	97	85
⑧(3046) ジェイエヌ	90	498
⑨(9424) 日本通信	79	10900
⑩(4314) ヲウチンHD	55	3130

売買代金上位銘柄

銘柄	売買代金	株 価
①(9424) 日本通信	815	10900
②(8697) 大 証	289	478000
③(3776) BBタワー	270	93000
④(3811) ビットアイル	220	79300
⑤(4314) ヲウチンHD	177	3130
⑥(2326) Dアーツ	170	64000
⑦(4822) ハドソン	137	389
⑧(2138) クルーズ	126	150000
⑨(3765) ガンホー	96	21800
⑩(4875) メディンバ	89	703

上昇率上位銘柄

銘柄	上昇率	株 価
①(8206) ステラグループ	33.3	4
②(4187) 大有機化	17.6	534
③(8851) アーバンライフ	10.1	87
④(7208) カネミツ	9.1	371
⑤(4960) ケミプロ	8.3	143
⑥(4552) 日ケミカル	5.2	1425
⑦(6646) エナジサポ	5.1	185
⑧(6294) オカガアヨ	5.0	125
⑨(3114) プロジェHD	5.0	21
⑩(7647) 音 通	5.0	21

下落率上位銘柄

銘柄	下落率	株 価
①(1848) 富士ビーエス	7.3	102
②(2414) 塩見HD	6.5	29
③(2611) 攝津油	6.0	376
④(6487) 積水工機	5.1	166
⑤(4120) サガイ化	4.2	138
⑥(5967) 前田金	3.6	161
⑦(1850) 南海辰村	3.4	28
⑧(7887) 南海プライ	3.3	297
⑨(5389) レチボン	3.2	600
⑩(5955) ヤマシナ	3.1	31

出来高上位銘柄

銘柄	出来高	株 価
①(1757) 東邦グローバル	4055	3
②(3121) マチャント	3028	33
③(8206) ステラグループ	2970	4
④(6624) 田淵電	787	182
⑤(2414) 塩見HD	666	29
⑥(4552) 日ケミカル	448	1425
⑦(3114) プロジェHD	407	21
⑧(7647) 音 通	217	21
⑨(1850) 南海辰村	206	28
⑩(5955) ヤマシナ	172	31

株価指数先物取引

25日

限月	始値	高値	安値	終値	前日比	出来高	建玉残
TOPIX							
22年6月限	949.0	950.0	943.0	944.5	0	31319	340792
22年9月限	—	—	—	—	—	—	5
22年12月限	—	—	—	—	—	—	701
ミニTOPIX							
22年6月限	949.00	950.25	943.50	946.00	Δ1.00	4495	8509
22年9月限	—	—	—	—	—	—	0
22年12月限	—	—	—	—	—	—	0
日経225							
22年6月限	10790	10810	10740	10770	Δ30	43997	256419
22年9月限	10780	10810	10750	10770	Δ40	98	13188
22年12月限	10740	10740	10720	10730	Δ30	11	45903
日経225mini							
22年6月限	10785	10810	10740	10770	Δ30	242763	255932
22年9月限	10790	10810	10745	10770	Δ30	2916	4545

投資カレンダー (3月22~28日)

22日	春分の日振り替え休日(東京市場休場) ティファニーなど決算発表 ヨハネスブルグ市場休場 フィギュアスケート世界選手権(〜28日、トリノ) イスラム銀行・金融機関会議(シリア・ダマスカス) 米国2月のシカゴ連銀全米活動指数 豪州2月の新車販売台数
23日	モロゾフなど決算発表 アドビシステムズ決算発表 第一生命保険、売り出し価格公表日 東京工業品取引所、「日経・東工取商品指数」上場 国連アフガン支援国(UNAMA)活動期限 カラチ市場休場 2月の全国スーパーマーケット売上高 2月の全国コンビニエンスストア売上高 10-12月の資金循環統計速報 米国2月の中古住宅販売件数 米国1月のFHFA住宅価格指数 日本経済新聞電子版創刊
24日	ダイト新規上場 ペイチェックス決算発表 上場インデックスファンド「海外新興国株式」東証上場 ムンバイ、ブエノスアイレス市場休場 日中韓ASEAN域内外貨融通制度、多国間の枠組みに 南アフリカ準備銀行金融政策委員会(〜25日) 2月の貿易統計 米国2月の耐久材受注 米国2月の新築住宅販売件数 ドイツ3月のIfo景況感指数
25日	オラクル、ベストバイ、アクセンチュアなど決算発表 キヤノンソフト株主総会(キヤノンMJの完全子会社に) 米CFTC、貴金属取引の持ち高規制で会議 京都府知事選挙告示(投開票は4月11日) EU(欧州連合)首脳会議(〜26日、ブリュッセル) アテネ市場休場 豪州中央銀行金融安定報告 気象庁、3カ月予報(4-6月) 2月の企業向けサービス価格指数 豪州1月のコンファレンスボード景気先行指数 ニュージーランド10-12月のGDP 東京国際アニメフェア2010(〜28日、東京ビッグサイト)
26日	実質年度末、配当など3月末割当権利付き最終日 日本化薬、ミタチ産業、ジーンズメイトなど決算発表 プロ野球セ・リーグ開幕戦(3試合ともナイター) 東京モーターサイクルショー(〜28日、東京ビッグサイト) 旧ソ連の独立国家共同体(CIS)外相会議(モスクワ) 2月の全国、3月の東京都区部消費者物価指数 米国10-12月のGDP確報値 米国3月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値 中国2月の工業利益(年初来前年比) 石川県知事任期満了 新千歳空港の新国際旅客ターミナルが供用開始
27日	ドバイ・ワールドカップ(レッドディザイア出走) 米、上・下院休会(〜4月11日)
28日	千葉県木更津、奈良県宇陀市長選挙 欧州主要国、サマータイムに移行(〜10月31日) 中央競馬・高松宮記念(中京競馬場) 任天堂、ニンテンドーDSiXL米国販売開始 F1シリーズ オーストラリア・グランプリ決勝(メルボルン)

金融取「くりっく365」(取引所為替証拠金取引)

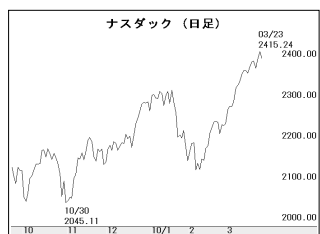
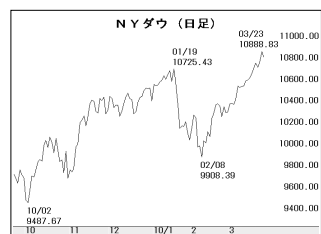
取引状況 (25日14時)		建て玉数量(24日)	
通貨	買気配	売気配	売り建玉
USD/JPY	91.97	91.99	260.153
EUR/JPY	122.62	122.65	25.803
GBP/JPY	137.06	137.11	28.788
AUD/JPY	83.82	83.84	57.961
CHF/JPY	85.82	85.86	2.290
CAD/JPY	89.90	89.94	10.254
NZD/JPY	64.70	64.74	9.442
ZAR/JPY	12.430	12.445	6.563
NOK/JPY	15.240	15.255	10
HKD/JPY	11.855	11.860	394
SEK/JPY	12.640	12.655	187
PLN/JPY	31.53	31.59	1.773
EUR/USD	1.3330	1.3331	4.369
GBP/USD	1.4901	1.4904	891
GBP/CHF	1.5966	1.5971	61
USD/CHF	1.0714	1.0717	239
USD/CAD	1.0231	1.0235	143
AUD/USD	0.9112	0.9114	1.487
EUR/CHF	1.4283	1.4286	123
EUR/GBP	0.8944	0.8946	314
NZD/USD	0.7032	0.7036	149
EUR/AUD	1.4626	1.4630	634
GBP/AUD	1.6350	1.6356	309

USD=米ドル JPY=日本円 EUR=ユーロドル GBP=英ポンド AUD=豪ドル CHF=スイスフラン CAD=カナダドル NZD=ニュージーランドドル PLN=ポーランドズロチ ZAR=南アフリカランド NOK=ノルウェークローネ HKD=香港ドル SEK=スウェーデンクローナ

海外の株価

24日

ニューヨーク株価		ロンドン FT普通株100種	
ダウ工業株30種	10836.15 ▼52.68		5677.88 ▲4.25
高値	10887.84	フランクフルト DAX指数	
安値	10825.42		6039.00 ▲21.73
出来高	1023 百万株	チューリッヒ SMI指数	
値上がり	1020 銘柄		6879.95 ▲2.79
値下がり	2007 銘柄	ブラジル ポベスバ指数	
変わらず	127 銘柄		68913.40 ▼473.32
S&P500種	1167.72 ▼6.45	メキシコ ボルサ指数	
NASDAQ指数	2398.76 ▼16.48		33160.97 ▼200.30



※スケジュールは変更されることがあります



デイリーダイジェスト

3月25日
14時25分現在

(12時45分配信)

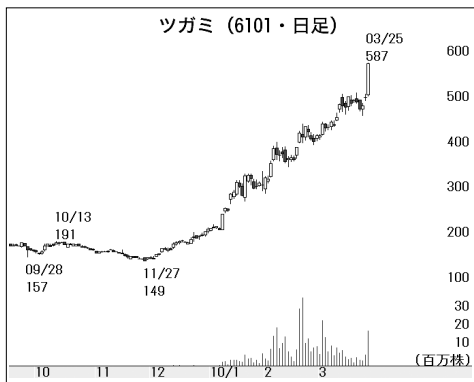
・12時41分時点のTOPIXは952.26ポイントの0.29ポイント高、日経平均は10,821円の6円高。

3月末の配当の権利付き最終売買日は明日26日で、権利落ち日は3月29日からとなりますが、実質年度内最終取引日を26日に控えて、積極的に動きにくいようです。

格付け会社フィッチがポルトガルの信用格付けを「AA-」に引き下げ、UBSのエコノミストはギリシャがデフォルト(債務不履行)に陥ると指摘したため、ユーロが売られ、ドルは対ユーロだけでなく、対円でも上昇したため、25日の海外市場ではドル円相場は92円台まで円安が進みました。

東京株式市場では不二越(6474)が日経新聞に2009年12月期～2010年2月期は営業黒字10億円弱と黒字転換した公算が大きいと報じられたことや、日経産業新聞には中国上海の生産拠点で建設機械向けの油圧式モーターなど2011年3月期までに2～3倍に増産すると報じられたことも注目され、買われています。

ツガミ(6101)はハードディスク駆動装置(HDD)関連向けの自動旋盤の受注が回復していることが評価されています。



財務省が24日発表した2月の貿易統計で、輸出数量は前年同月比46.0%の伸びとなりました。平成19年度版経済財政白書で、1990年代後半以降、輸出が2四半期程度の遅れを伴って設備投資に影響を与える関係が認められるようになったと記されているので、JPモルガン証券では2010年度には、設備投資が急回復するだろうと解説しています。

ただ、JPモルガン証券では輸出数量よりも企業の経常利益の方が、より安定的に日本

の設備投資の変動を説明していると述べています。

そして今回は、日本の設備投資の回復と同時に米国の失業率も低下してきそうと解説しています。その際に、米国の長期金利が4%を上回ってくる可能性が高いので、金利感応度の低い日本株が選好され、日本株のリスクを取るなら、金融セクターを中心とする内需株となるのではないかと分析しています。

日本の設備投資が回復しても、それだけ理由にセクター判断をするのは危険と論じています。

(14時25分配信)

・上海総合指数は3,018ポイントの38ポイント安、香港ハンセン指数は20,750ポイントの258ポイント安。

24日、格付け会社のフィッチがポルトガルの格下げを発表したため、欧州通貨のユーロが売られ、25日の香港株式市場では欧州で収益の4割を稼いでいるHSBCが焦げ付き増加懸念から売られました。

また、衣料品の輸出を行っている利豊(HK494)は米国のウォルマート・ストアーズなどに商品を納めていますが、世界的な景気後退に伴う個人消費の減退を受け、2009年12月期の決算で、売上高は18年ぶりに減少したことから売られました。

ユーロ安ドル高で、ドル代替投資先としての魅力が薄れたことで、24日の原油価格も下落したため、上海市場では石炭会社の中国神華能源などのエネルギー関連が安くなっています。

中国人民銀行が1,600億元の3ヵ月手形を発行し、先週と比べて300億元の増加となったため、市場から資金を回収しようとしていることが警戒され、金融引き締め懸念から中国工商银行や中国銀行など売られました。

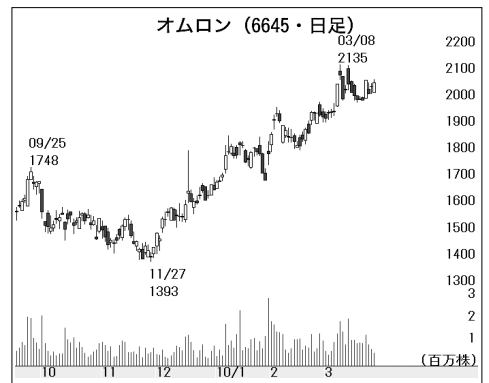
・14時20分時点のTOPIXは952.29ポイントの0.32ポイント高、日経平均は10,830円の15円高。東証1部市場の値上がり銘柄数は641、値下り銘柄数は863。出来高は14億5,832万株、売買代金は1兆16億円。

東京株式市場は25日～26日のEU首脳会議を控えて、様子見となっています。

ただ、工業用ミシンのJUKIやパカサス

ミシンが中国の旺盛な需要を獲得しているという評価で買われ、牧野フライス(6135)も金属・金型加工機械がアジアで売れ、来期は上期は赤字が残るものの、下期は黒字転換を見込むと日経新聞で報じられたことが注目されました。

オムロン(6645)が堅調となっていますが、UBS証券では中国の沿岸部で労働者の賃金が20%前後の大幅な引き上げになる見込みで、人件費高騰や人民元高が加われば、中国の製造業の合理化・省力化投資に火が付く可能性があり、各種制御機器の普及が中国で加速してくる可能性が大きいことから恩恵を受けると指摘しています。



内陸部でインフラ工事などが増えて労働者が不足していることも、沿岸部の賃金の上昇要因になっているそうです。

CKD(6407)はリチウムイオン電池用捲回機を生産しているため、電気自動車の普及策で恩恵を受けると期待されているようです。

東京電力が2010年度からスマートグリッド(次世代送電網)の中核機器である双方向通信機能を備えたスマートメーター(次世代電力計)の実証実験に乗り出すと発表したことで3月12日に買われた東光電気も、その後は調整していましたが、押し目買いが入り、反発しています。

栗田工業(6370)はメリルリンチ証券から、アナリストの推奨銘柄のリストである「ジャパンフォーカス1」リストに採用すると紹介され、値上がりしました。(1)安定成長をもたらす底堅い収益構造、(2)2011年3月期に過去最高益更新を予想すること、株価バリュエーションに割安感があること、(4)超純水関連で新規大型案件受注の可能性が出てきたことなどを理由に挙げています。

創刊1944年、最も歴史ある金融証券の総合専門紙—WEB版

NSJ日本証券新聞 ネット

<http://www.nsjournal.jp>

モバイル版⇒ <http://mobile.nsjournal.jp>

- 速報ニュース、人気コラム
- オンライン企業情報『NSJ会社ガイド』
- 各種入門コンテンツ
- 用語集
- 概況動画
- オンラインチャートブック『ばらっとチャート』
- システムトレード
- 商品、株先・OP情報 . . . etc